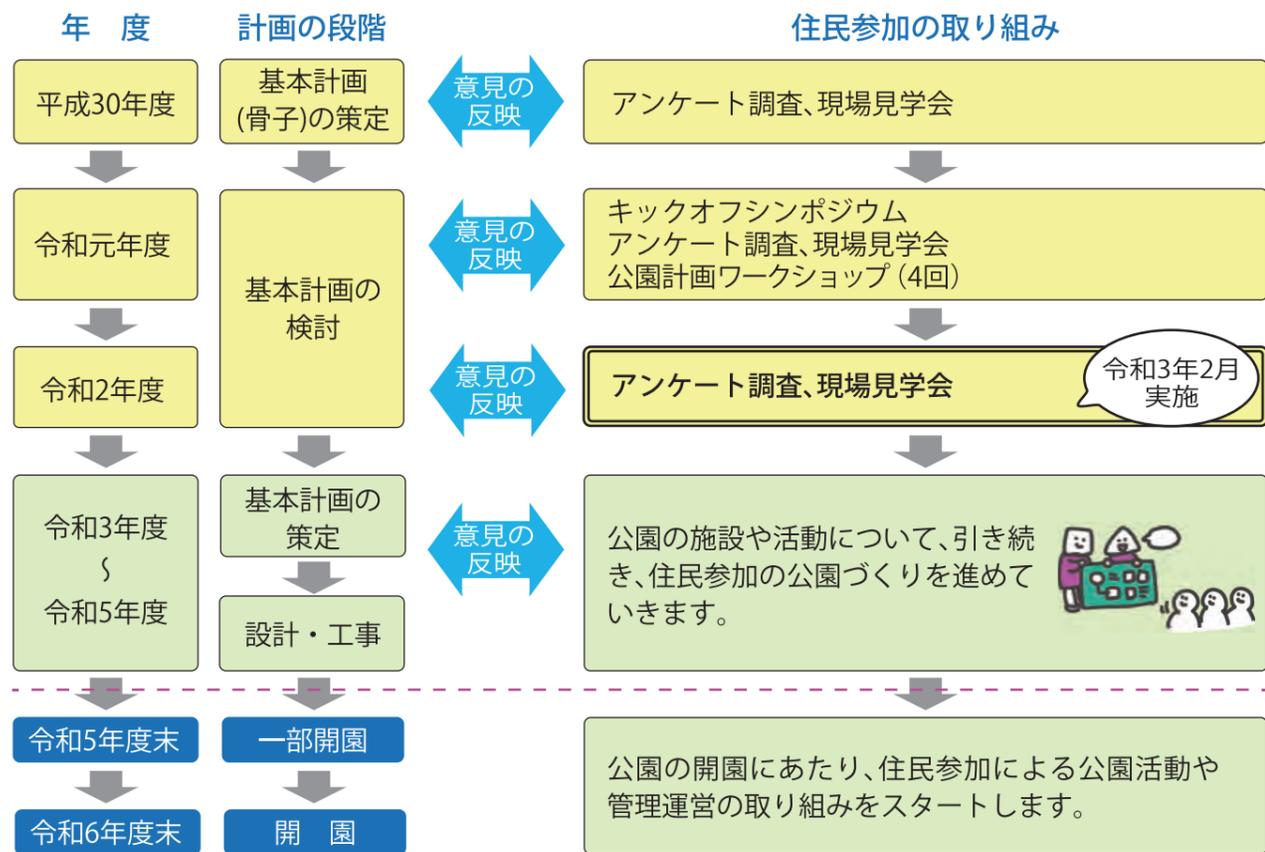


## 玉川野毛町公園拡張事業の流れ(予定)

区民や事業者と協働して公園づくりを段階的に進めていきます。  
 なお、拡張予定地の整備とあわせて、既開園区域の改修も順次進めていく予定です。



## 令和3年度の住民参加の取り組み(予定)

令和3年度は、新たに参加者を募り、「(仮称)玉川野毛町パークらぼ」と題し、住民参加の公園づくりを引き続き進めていきます。

この取り組みは、区民や公園利用者、専門家、区など、参加者みんなで、主体的に公園活動についてのアイデアや企画を出し合いながら進める予定です。

公園活動を試験的に行いながら、公園の施設や活動について検討し、公園の設計に反映していこうと考えています。

区民発意の取り組み  
活動のアイデア・企画

公園活動の  
試験的な取り組み

公園の施設や  
活動の検討



事業の経過や住民参加の機会については、引き続き、区のホームページや公園づくりニュース等でお知らせします。



玉川野毛町公園拡張 検索

区のホームページの検索窓にて「玉川野毛町公園拡張」と検索ください。「玉川野毛町公園が広がります」のページに掲載しています。

ホーム>目次から探す>区政情報>施設>公園・農園・緑道>公園・緑地>公園に関するお知らせ>玉川野毛町公園が新たに広がります

問合せ先

世田谷区みどり33推進担当部公園緑地課 建設担当 津田、岡田  
 〒154-8504 世田谷区世田谷4-24-1 城山分庁舎1階

電話：03-5432-2478  
 FAX：03-5432-3083



発行：令和3年2月

## 公園づくり ニュース 第5号

公園づくりニュースでは、  
玉川野毛町公園拡張事業の取り組みについて  
お知らせします。

公園計画ワークショップを開催し、「公園づくりの考え方」と「公園計画イメージ」(図面)をとりまとめました。

実施  
しました

令和2年度の取り組みについて報告します

### 公園計画ワークショップを開催しました

昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中断していた公園計画ワークショップを令和2年9月と10月に開催しました。



ワークショップ

→ P2・3



### 「公園づくりの考え方」と「公園計画イメージ」をとりまとめました

これまで頂きましたアンケート調査やワークショップ等の区民意見、民間事業者の意見も踏まえ「公園づくりの考え方」、「公園計画イメージ」をとりまとめました。

「公園づくりの考え方」→ P4・5

「公園計画イメージ」→ P6・7

これからの  
取り組み

令和3年2月にアンケート調査、現場見学会を行います

### 基本計画の策定に向けてご意見ください

基本計画の策定に向けて「公園づくりの考え方」、「公園計画イメージ」についてご意見を伺う機会としてアンケート調査、現場見学会を行います。



アンケート

→ 別紙

現場見学会

→ 別紙

### 基本計画を策定します

いただきましたアンケートや現場見学会などでのご意見を踏まえ、令和3年春頃に基本計画をとりまとめる予定です。



公園計画ワークショップ(第4回)の様子



玉川野毛町公園の位置

# ✓公園計画ワークショップを開催しました

玉川野毛町公園拡張事業基本計画の策定に向けて、令和元年度～令和2年度にかけて計4回の公園計画ワークショップを開催しました。コロナ禍における中断もありましたが、ワークショップ参加者の皆様のご協力により、「公園づくりの考え方 (P4・5)」「公園計画イメージ (P6・7)」の基となる成果をとりまとめることができました。

## 第1回

### 『公園予定地を知る』

開催日：令和元年 11月10日  
 参加人数：45人  
**【内容】**  
 みんなの意見を聞き共有する



## 第2回

### 『どんな公園になってほしいか考える』

開催日：令和元年 12月21日  
 参加人数：37人  
**【内容】**  
 公園での活動と空間イメージを考える



## 第3回

### 『将来像 (あるべき姿) をえがく』

開催日：令和2年 9月5日  
 参加人数：29人  
**【内容】**  
 公園計画イメージ(案)について考える



オンラインによるご参加もいただきました。

これまでの意見を踏まえてとりまとめた「公園計画イメージ(案)」について意見交換を行いました。その結果、防災や近隣住民への配慮等、個別の課題について不足する視点があり、引き続き検討することとしました。

## 第4回

### 『えがいた将来イメージを現地で確認する』

開催日：令和2年 10月31日  
 参加人数：29人  
**【内容】**  
 公園計画イメージ(修正案)について考える



第3回の意見をもとに検討をおこなった公園計画イメージ(修正案)について、オープンスペースとなる草地や樹林地の規模、施設の配置、周囲との関係性などを現地で確認しました。「図・第4回の結果」とおり、参加者一人ひとりより意見を頂き、最後に概ねの合意を得ました。



参加者一人ひとりよりご意見を頂きました



図・第4回の結果 (グラフィックレコーディング)



図・公園計画イメージ (修正案)

### 主なご意見

- 既存の樹木や広々としたオープンスペースが魅力。
- 住民が主体的に関わり、地域の交流を図りながら、手づくりで公園をつくっていききたい。
- 公園について防犯や防災などの安全面をしっかりと検討していく必要がある。
- どんな活動がしたい? 必要な場所、道具を考える。
- 公園活動の拠点があると活動しやすい。

コミュニティデザインの専門家である東京都市大学の「坂倉先生」より全4回のワークショップに参加した感想をいただきました。

お互いの考え方を知ることで、公園に対する想い、心配する点など立場によって意見は様々なことが分かりました。その結果、100年後の未来のことも考え、みんなの意見に寄り添ったワークショップができたと思います。

おだやかな晴天のなかワークショップを行いました。とりまとめにあたり参加者全員で記念撮影しました。



# 玉川野毛町公園 拡張事業

～公園づくりの考え方～



## ■玉川野毛町公園拡張事業について



玉川野毛町公園に隣接する約2.8haの土地を拡張整備する玉川野毛町公園拡張事業を進めています。

- ～拡張予定地と周辺の特徴について～
- 拡張予定地の西側には、こども広場などのある既開園区域、東側には、みどり豊かな等々力溪谷が位置しています。
  - 野毛大塚古墳をはじめ周辺には、古墳や横穴墓群が多く分布しています。
  - 既開園区域と拡張予定地は、玉川野毛町公園一帯として広域避難場所、隣接する環状八号線は緊急輸送道路に指定されています。

## ■公園のテーマ・公園づくりの方針

### ○公園のテーマ

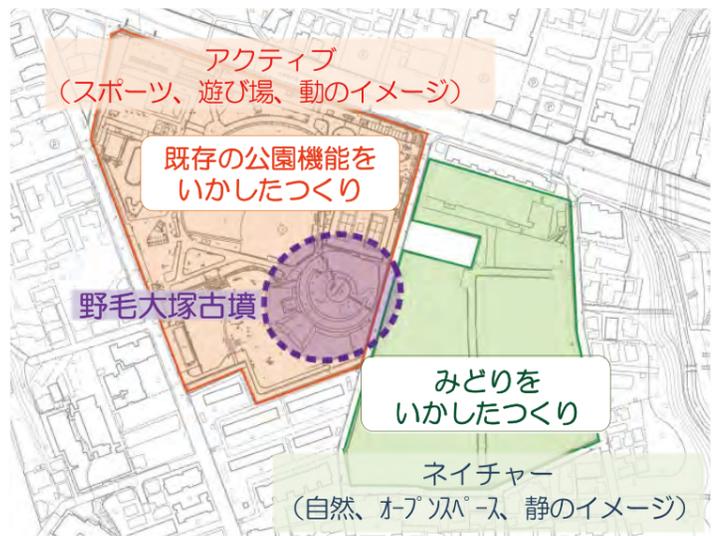
「世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどり、歴史文化を知り、育み、次世代へつなぐ場」

### ○公園づくりの方針

- ともに作る、ともにあゆむ公園づくり**（※ワークショップの意見を踏まえ追加）
  - ・つくりこみすぎず、人との関わりにより少しずつ公園を育て、「余白のある公園づくり」を行い、「100年後も良いと思える公園」を目指します。
  - ・区民が主体的に関わり、地域とのつながりを持てる公園をつくりまします。
  - ・区民や事業者が連携し、公園の利用や活用を通じて、楽しみひろがる魅力ある公園運営を行います。
- みどりとみずのネットワークづくり**
  - ・既開園区域、拡張区域、国分寺崖線のみどり、等々力溪谷の豊かな自然と一体的につながります。
  - ・草地から森まで、多様なみどりをみんなで作って、みんなで楽しみながら公園を育てる活動を行います。
  - ・子どもも大人も四季折々、遊びながら学べる自然の遊び場をつくりまします。
- 歴史・文化を感じられる空間づくり**
  - ・野毛大塚古墳等の文化財を通して、多摩川や国分寺崖線等の自然環境と歴史文化を守り伝える取り組み、学びきっかけづくりを行います。
  - ・野毛大塚古墳をいかし、公園と古墳がつながる景観づくりに取り組みまします。
- 安全・安心の公園づくり**
  - ・子どもからお年寄りまで、誰でも安心して訪れることができる公園をつくりまします。
  - ・風水害や地震等の災害時に地域の防災活動拠点として活用できるよう、広域避難場所、緊急輸送道路（環状八号線）の特性をいかした災害に役立つ拠点をつくりまします。

## ■公園の基本構成

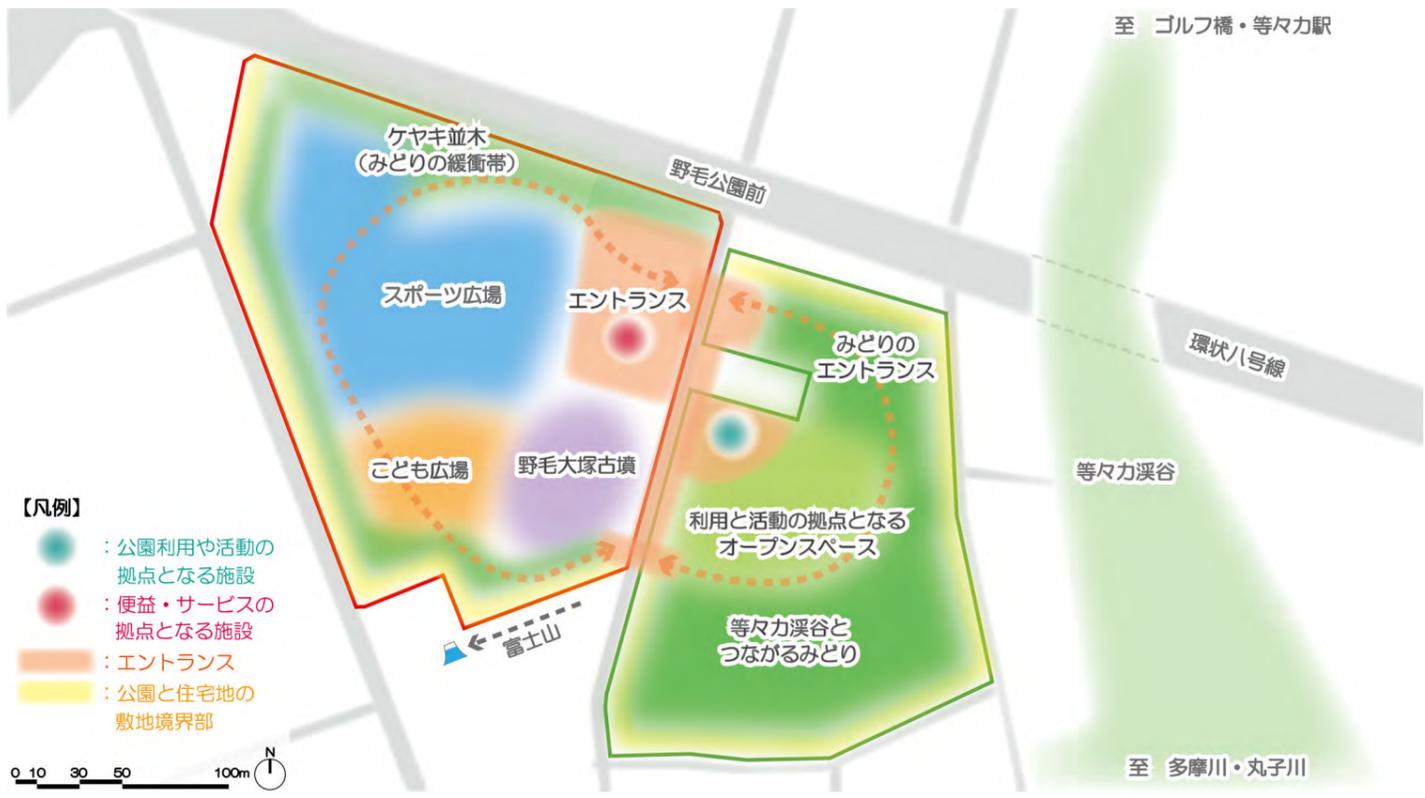
### 大まかな公園機能の分担イメージ



### 公園の一体性を高める空間構成イメージ



### 公園づくりの方針や特徴を踏まえた土地利用イメージ



こども広場（既開園区域）

オープンスペースと様々な樹木（拡張予定地）

# 世田谷区立玉川野毛町公園拡張事業 ～公園計画イメージ～

※テニスコートについて  
 エントランスの再整備に伴い、テニスコートは既開園区域内に移設することとします。移設位置は今後お示しします。

■安全・安心の公園づくり  
 ○地域防災活動が行える広場や施設、災害時の車両の乗り入れなど防災に役立つ公園となる。  
 ○公園に降った雨を溜め、雨水の流出を抑える施設（雨水貯留、浸透、グリーンインフラ等）ができる。  
 ○防犯に配慮し、見通しの良い公園空間となる。

■野毛大塚古墳  
 ○古墳と周囲の公園空間がつながり、公園のランドマークとなる。  
 ○古墳の魅力や地域の歴史を学び、伝える場となる。

■区道と公園の一体性  
 ○歩道状の園路をつくり安心して歩ける。  
 ○電柱の地中化を検討していく。

■濃いみどり  
 ○これまで育まれたみどりを、等々力溪谷とつながる森としてみんなでつくり、育てる。  
 ○森のなかで生きものの住処づくりや落ち葉掃き、生きもの観察など自然を体験できる。

■みどりにつつまれた駐車場  
 〇ケヤキ並木を活かす。



イメージ

■公園の顔となるエントランス  
 ○みどりあふれるエントランスで来訪者を迎え、既開園区域、拡張区域、等々力溪谷を結ぶ。  
 ○エントランス広場では飲食や物販を誘致し、公園利用者の楽しみが広がる公園となる。



イメージ

■活動をサポートするバックヤード  
 ○森づくりや様々な活動を支える。



イメージ

■公園利用や活動の拠点となる施設  
 ○住民参加による様々な活動や交流、イベントが開催できる拠点となり、余白を活かした公園づくり、公園運営を実践する。  
 ○歴史文化・環境学習活動の拠点となる。  
 ○防災機能・軽飲食等を兼ねた施設を検討する。



イメージ

■草地の広場  
 ○公園の中心となる広いオープンスペースで等々力溪谷から古墳までつながる。  
 ○古墳を眺めながら、のびのびゆったりと、過ごすことができる夕陽がきれいな広場となる。



イメージ

■明るいみどり  
 ○子どもたちは、みどりのなかで木々や土に触れて、自然の遊具で思いっきり遊べる。  
 ○大人たち、家族の利用では、心地よい木陰のなかで思い思いに過ごすことができる。



イメージ

